

## 書評：福山 隆『陸軍中野學校の教へ』

日本のインテリジェンスの復活と未来

ダイレクト出版、2021.12.20、1980円+税

21世紀日亞協會 會長

伊原 吉之助

今後の予定：単発の書評と、昭和史の講義（これもテーマは独立）を混ぜて行きます

9月10日(土)：昭和史Ⅰ：岡田益吉『昭和のまちがひ』（雪華社、昭和42.11.25）540円

“大正の間違ひ、昭和を殺す”……

高橋龜吉・森垣淑『昭和金融恐慌史』（清明會出版部、昭和43.10.1）400円

（市場には「講談社學術文庫版」で流布）

10月8日(土)：福島香織『習近平：最後の戦ひ』（徳間書店、2022.6.30）1600円+税

“『文革2.0』の恐怖政治が始つた：中國が世界を廢墟にする』（ビジネス社、2021.8.1）1500円+税

11月17日(木)：昭和史Ⅱ：山岡貞次郎『支那事變：その秘められた史實』（原書房、昭和50.8.15）2200円

→「盧溝橋の一發」は中共ではなく中國國民黨藍衣社の策動で始つた……

拙稿「大東亞戦争と支那事變」（『世紀末から見た大東亞戦争』プレジデント社、1991.12.18,1部1章）

阿羅健一『日中戦争はドイツが仕組んだ』（小學館、2008.12.21）1500円+税

“『日中戦争は中國の侵略で始つた』（悟空出版、2016.3.1）920円+税

12月 日(木)：甲斐 弦『GHQ 検閲官』（經營科學出版、2022.7.1）980円+税

I. 時事問題設問：奇々怪々な今の世の中に、並の庶民は戸惑ふばかり……茫然自失するほかなし

(1) 國聯を解體せよ：世界秩序維持の責任を持つ筈の安保常任理事國が隣國に戦争を仕掛けるやうでは、國聯の存在意義なし！ 利用者（受益者）があるので存続しつづけるだらうが……

我國は早々と脱退した方がよいのではないか……？

(2) 安倍晋三 元首相の暗殺者は……？：某マガの投書欄に曰く、元首相には政府から SPが一人付けられるが、犯人とされる人物の第一射撃で人々は（安倍晋三 元首相を含めて）全員立つた儘振返つたのに對し、只一人地に伏せた人物あり。それが SP だと。この説が眞實なら、SP は 安倍暗殺を事前に知つてゐたことになる。

投稿者は、「この SP は やがて 消される」と推測してゐるが、その背後の勢力は……???

II. 福山 隆『「陸軍中野學校」の教へ：日本のインテリジェンスの復活と未来』：

1頁 映畫「ONODA一萬夜を越えて」フランス監督が描く壮大な人間ドラマが第74回カンヌ國際映畫祭「ある視點部門」のオープニングを飾り、凡そ15分のスタンディングオベーションを受けた。

映畫の主人公 小野田寛郎 ひろを 少尉は、陸軍中野學校 二俣分校の卒業生……

昭和13年/1938年 7月 後方勤務要員養成所 設立～敗戦と共に消滅/卒業生 約2500人……

當時の日本のインテリジェンスのレベルは「世界のトップクラス」だつた……

- 2頁 1999年 中國空軍の二人の將校（喬良・王湘穗）が『超限戰』を論じた。  
『超限戰——兩個空軍大校對全球化時代戰爭與戰法的想定』（解放軍出版社、1999.2.）16元  
孫子曰く、「戰は正を以て合ひ、奇を以て勝つ」と。奇＝超限戰  
2020年 半頃～ 米英から「日本をファイブアイズに加ヘシックスアイズにせよ」との聲が高まり始めた……  
5 Eyes＝米英濠加新 の アングロサクソ 5ヶ國 → 疑問：我國に、これに加はる能力ありや……？
- 3頁 米中覇權争ひが熾烈化する中、アングロサクソ同盟が「日本の情報體制の強化」を考へ始めた……  
日本にとり、情報體制強化の好機到來となるかも……  
(1) 各國のヒューミント human intelligence 機關：英 SIS (MI6) / 米 CIA  
(2) 各國のシグINT 機關：米 國家安全保障局 NSA / 英 政府通信本部 GCHQ / カナダ 通信安全保障局 CSE / 濠洲 信號總局 ASD / NZ 政府通信保安局 GCSB……  
日本 の シグINT：防衛省情報本部の電波部 / 陸上幕僚監部・調査部・調査部第二課別室（二別）  
SIGINT：signal intelligence 通信情報  
1991年1月 情報本部創設：冷戰期にはソ聯が、今は中國が主なターゲット……
- 4頁 収集データは米國 NSA に送付 → そのお駄賃に一定の情報を有難く頂く取決め……  
日本の情報本部・電波部で収集した情報は、5 eyes 諸國には遠く及ばぬのが現状……
- 5頁 新規情報體制構築上、世界トップクラスだった陸軍中野學校から學び直す要あり……  
課題：日本独自の諜報活動の創出
- 6頁 中野學校は實際に調べてみると、正に「寶の山」……

## 第一章 傳説の「陸軍中野學校」とは？

- 12頁 秘密のバールに包まれた陸軍中野學校  
短期間しか存在しなかつたが、II 大戰後の世界覇權構造をひつくり返すほどの威力を發揮した  
同校卒業の少數精鋭だけで殖民地を次々獨立させ、世界を刷新した  
中野卒業生は Pax Americana を齎した最大の功勞者……
- 13頁 1922年1月生れの牟田照雄先生（第三期乙種學生）曰く、  
中野はスパイ學校に非ず、「秘密戰士養成所」也、と。  
秘密戰＝武力戰以外の全戰爭。諜報・宣傳・謀略・防諜  
中野に関する膨大な資料は、終戰と共に全て燃やされた。燃やすのに四日間かかった由……  
また「中野は語らず」といふ不文律あり……
- 15頁 「陸軍中野學校」創設の背景：日露戰爭で活躍した明石元二郎大佐の活躍……  
→「敗者は學び、勝者は學ばず」の言葉通り、日本は碌に學ばず……
- 16頁 1917年 ロシア革命 / 1921年 クートヴェ（東方勤勞者共產大學）：アジア諸國の共產黨幹部養成 / 1919年 コンテルン 設立（ソ聯防衛 + 革命輸出）
- 19頁 1938年 日本、漸く「陸軍中野學校」設立（遅過ぎた！）
- 31頁 陸軍中野學校 年表：  
1937年 岩畔豪雄が意見書「諜報謀略の科學化」を陸軍參謀本部に提出  
1938年 7月 「後方勤務要員養成所」開設  
1939年 4月 同所を中野圃町に移轉  
1940年 8月 「陸軍中野學校令」制定  
1941年10月 陸軍中野學校の所轄が陸軍省から參謀本部に移管  
1944年 8月 静岡縣の二俣町に「二俣分教場」を開設

- 1945年 3月 陸軍中野學校が群馬縣富岡に疎開
- 20頁 大國に勝つための諜報・工作：日本の主敵＝ソ聯／その脅威＝軍事力＋共産思想の感染力  
 (日露戦争後は米國も主敵となる)：Th. Roosevelt (大白艦隊・ルンペン・日本人排斥運動)  
 → 米、ワシントン體制による日本封じ込めへ／米の日本壓殺機關「太平洋問題調査會」  
 YMCA の國際連帶運動に始る IPR……/28年 機關誌 Pacific Affairs 公刊  
 調査シリーズの1冊がノーマンの『日本における近代國家の成立』(1940年)……  
 日本は日米友好運動のつもり……／米は日本潰し(日中共産化)の工作機關のつもり……
- cf. 1 太平洋問題調査會發行『太平洋の諸問題』(有斐閣、15.7.20) 參圓  
 片桐庸夫『太平洋問題調査會の研究』(慶應義塾大學出版會、2003.10.29) 5800圓+税  
 Institute of Pacific Relations：太平洋地域に關する興味を持つ男女が個人として關係  
 諸國の福祉増進のため會合し協同する團體、と稱するが……  
 實は、米國が日本牽制のため設置した謀略機關。左翼人多し……  
 ①ハワイ會議 1925 ②同 1927 ③京都 1929 ④上海 1931 ⑤バンク(カナダ) 1933 ⑥モミテ 1936 ⑦ビ  
 ーチ(ヴァージニア) 1939 ⑧モン・トラン(カナダ・ケベック州) 1942 ⑨ホットスプリングス(米ヴァージニア) 1945) ⑩ストラトフォード  
 ・フォン・イヴォン 1947 → この會合への日本側の參加者は近衛内閣支援人物……
- cf. 2 田中英道『戦後日本を狂はせたOSS「日本計劃」』(展轉社、平成23.7.25) 2000圓+税 144-145頁  
 日中を共産化する原點となつた組織。IPR會員中 46名が米共産黨員/8人がソ聯スパイ  
 日本支部である日本IPRは1926年設立、39年脱退。43年「敵性調査機關」として解散、戦後再建  
 日本の副次敵＝支那の蔣介石(國民黨)＋毛澤東(共産黨)＋各種軍閥の濫立・割拠……
- 25頁 中野學校の創設が遅れた理由：(1) 明石元二郎の成功を生かせず。(2) 日本の情報輕視の體質  
 27頁 「陸軍中野學校」誕生までの経緯  
 32頁 創設に盡力した軍人連：創設の主務者 3人 岩畔豪雄中佐、秋草俊中佐、福本龜治中佐  
 36頁 「陸軍中野學校」の諜報要員選別の特色：善惡兼務の多重人格者が適任……  
 38頁 諜報任務に就く者は、廣い知識・柔軟性・融通性が必要。∴陸軍予備士官學校出身者が適任  
 (一般大學卒業者を將校にする教育機關) 諜報要員としての幅廣い學識・冷靜な視點・一般社會の生  
 活習慣に馴染んでゐること。最終的に本人の意志を確認して採用  
 (信念無き者は、諜報要員に不適) 體力・口が堅いこと……
- 41頁 「陸軍中野學校」の學生種別：甲種學生・乙種學生・丙種學生・丁種學生・戊種學生  
 44頁 ニューギニア戦線で中野卒業生と台灣の高砂族が協力して米英濠軍と渡り合つた。その時の戦闘記録を  
 元「東部ニューギニア方面に於る遊撃戦の參考」というマニュアルが作られた……(伊原に論文あり)  
 45頁 中野卒業生らは終戦後、米軍の占領政策が許容できぬ場合は、マッカーサー元帥の暗殺やゲリラ戦を実施する  
 準備をしてゐた由  
 46頁 諜報用の秘密兵器を開發した「登戸研究所」  
 開發したアイテムは約200點……「風船爆彈」……生物兵器……
- 49頁 教育方針(1)：「謀略は誠なり」：中野學校は技術より人間教育を重視した……  
 伊原註：櫻の花を愛でる日本人には謀略發揮も「誠心誠意」が根本路線  
 53頁 教育方針(2)：「國の爲なら“埋め草”になれる」……  
 54頁 教育方針(3)：「民族解放の戰士」の育成  
 55頁 教育方針(4)：「生き残れ、絶對死ぬな!」  
 56頁 寺子屋方式で行はれた教育：教官による一方的講義はなく、議論を重ねつゝ學習と研究を進めた

- 57頁 教育内容：諜報・謀略・防諜・宣傳・遊撃戦・占領地行政
- 58頁 教育カリキュラムから窺へるもの  
科目：①學科＝戦争學、外國事情、兵用地誌、外國兵器、外國築城、情報・謀略・防諜・宣傳、政治學（國體學）、經濟謀略・政策、思想・労働問題。②外國語＝英・露・支。③武術＝劍術・柔術、植芝流合氣道。④實務＝防諜補助手段、防諜技術、暗號、寫眞技術。⑤特別講座＝細菌學、藥物學、心理學、犯罪手口、氣象學、交通學、統計學等。⑥實習＝通信・自動車・航空・爆破・忍術・法醫學等。特殊爆彈・偽造紙幣の製造法も。
- 61頁 1941年9月6日の御前會議で「南進論」採用。南方作戦が始動……  
(1939年秋から陸軍は對ソ・對支の北進案と共に南進案も採択し、二正面に備へてゐた)
- 63頁 中野學校のカリキュラム中、大事なものは「國體學」。諜報戦士にとり精神陶冶は必須不可欠!
- 65頁 中野學校での特殊講義：中野ならではの教育……  
甲賀流忍術教育／掏摸の名人の出張演技／金庫解錠授業……
- 66頁 日本の『特務機關』：明石機關／ハルビン特殊機關／梅機關／土肥原機關／甘粕機關／茂川機關／松機關／里見機關／興亞院／兒玉機關／水田機關／昭和通商／F 機關／岩畔機關／光機關／南機關
- 108頁 特務機關の活動などから読み解く日本の諜報活動の特色  
英軍の疑問：素人集團が驚くべき成功を収めたのは何故?  
藤原少佐の答：英蘭の殖民地經營は「彈壓と搾取」のみ。我々はこの弱點を衝いただけ

## 第二章 陸軍中野學校教育のモデルとなつた先達

- 112頁 帝國陸軍の諜報の淵源——朝鮮半島をめぐる日露の攻防  
cf. 明石元二郎大佐の『革命のしをり』（『落花流水』）
- 113頁 大航海時代以來の歐洲列強の海洋進出 → 大陸國ロシアの出遅れ → 領土の東方擴大へ
- 114頁 1891年シベリヤ鐵道建設 → 最終目標＝日本占領 → そのための朝鮮半島進出……  
cf. ハーモン・タッパー 鈴木主税譯『大いなる海へ：シベリヤ鐵道建設史』（7ツ出版社、昭和46. 10. 25） 1600頁  
伊原評：興味津々たる讀物。「ロシア」「シベリヤ鐵道」を知りたい人の必讀文獻。500頁の巨冊
- 116頁 日本の諜報活動の始まり＝露の極東進出への對抗策／中野學校教育のモデルとなつた先達群：
- 117頁 川上操六——情報將校の抜擢・育成
- 119頁 田中義一——明石工作に繋る對露諜報活動
- 123頁 中村天風（『心身統一法』創始者）——ロシア軍の後方攪亂
- 136頁 石光眞清——シベリヤ・滿洲で諜報活動に従事  
cf. 著書四部作：『城下の人』『曠野の花』『望郷の歌』『誰のために』（共に中央公論新社）
- 142頁 福島安正——單騎でシベリヤ横斷し偵察を実施／川上操六の愛弟子の一人
- 154頁 廣瀬武夫——極寒のシベリヤを橇車で横斷した軍神  
cf. 島田謹二『ロシアにおける廣瀬武夫』（朝日新聞社、1970. 4. 30） 1400頁 當時の露を知る貴重な文獻  
313頁～ 貴族の令嬢 アリアドナ・ウラジミロヴナ・コヴァレフスカヤとの戀は實らず……  
1902. 1. 16 サントペテルブルク出發、シベリヤ鐵道でスチェンスクまで。後は橇車で雪原中をハロフスクへ  
2月18日、ブラゴヴェシチンスク到着。ハロフスクで橇の旅を終へる。シベリヤ鐵道を逆戻りして、新設の東清鐵道も経験。28日ウスリー鐵道で出發し、ウラザノストク、ニコルスコエ、ハルビン、奉天、大連を経て旅順に至り、船旅で3月19日長崎到着。  
28日歸京。
- 160頁 明石元二郎——帝政ロシア國內で攪亂工作を一人で成し遂げた男

- 163頁 1) 任務分析：日本の對露戰略二つ  
 (1) 日英同盟による露牽制。  
 (2) シベリヤ鐵道 完成前に 滿洲 の 露陸軍 と 旅順・ウラジワーストク の 露太平洋艦隊 を 撃破し、露に 東方進出を 斷念させる戰略  
 問題二つ：(1) 極東の露の陸海軍が短期間で撃破できるか？  
 (2) 歐洲に健在な露の陸海軍の反攻にどう對處するか？
- 164頁 2) 狀況：  
 露の弱點三つ：(1) 戰場の滿洲は露の中樞から 9000km離れてゐる。兵站 は シベリヤ鐵道 のみ  
 (2) 露の内政問題：饑 の 革命寸前狀態  
 (3) 露 の 太平洋艦隊 と バルチック艦隊 の 離隔  
 日本 の 弱點：(1) 長期戰能力の缺如 (戰費調達力 の 差 は 歴然)  
 (2) 兵站輸送能力の弱體
- 167頁 3) 我が行動方針：正) 當面の行動方針＝極東の露陸海軍の撃破  
 奇) 明石大佐による「露國內の騷擾化を圖る謀略工作」(工作資金 100萬)  
 cf. 當時の日本の國家預算 6億8000萬
- 169頁 4) 各行動方針の比較  
 日本軍の問題點：(1) 露の極東艦隊を撃沈できなかつた場合、滿洲軍への兵站支援 不能  
 (2) 滿洲軍が奉天以北で戰ふ場合、兵站支援不足となる  
 → 森鷗外 軍艦 の 責任重大！ 員數不足の陸兵を 脚氣で 兎に 弱體化！  
 簡単な實驗をやりさへすれば、脚氣に直ぐ對應できたのに！  
 (3) 長期戰化すれば國力が保たない  
 問題點の突破口：明石大佐の謀略工作しか無かつた……
- 170頁 「大東亞戰爭では、出口戰略は全く描かれてゐなかつた」 → No! No! No!  
 但し、不敗の體制に導く努力が陸海ばらばらで支離滅裂であつたことは否めない……！
- 171頁 5) 結論：明治天皇・參謀本部は最善の作戰計劃を立てて實行した筈……  
 明石工作の實體：三本柱から成る  
 ①不平黨を集めて會議を行ふ (二度開催)
- 172頁 ②武器の提供  
 ③資金の提供  
 成功の鍵 (1) フィンランド の シヤクス (反抗過激黨の黨主) に取り仕切らせた (明石 は 表面に出ず)  
 (2) 1905年1月22日 「血の日曜日」事件 勃發  
 (3) 米國 大統領 Th. Roosevelt の 仲介 (伊原の追加)
- 175頁 諜報の先達から學んだこと、學べなかつたこと  
 176頁 日本軍は「シベリヤ出兵」で「諜報の重要性」を改めて深刻に認識した……

### 第三章 「陸軍中野學校」卒業生たちの活躍

#### 180頁 南方作戰を支へた特務機關

大東亞戰爭の緒戰：ハワイ作戰・フィリピン作戰・マレー作戰

→ 伊原註：これに「インド洋作戰」乃至「インパール作戰」が必須。

「ハワイ作戰」は“やつてはならぬ戰闘”だつた……

- 中でも必須だったのがスマトラを攻略する油田地帯確保の戦闘「マレー作戦」  
そのための対英蘭戦闘（佛は既にドイツが屈伏させてゐた）
- 182頁 南方作戦で活躍したのが中野學校卒業生が主體となる特務機關……  
軍主流：軍主導（日本第一／南方住民は利用するだけ）／中野卒業生：獨立支援）
- 189頁 マレー作戦におけるF機關の活躍
- 193頁 マレーの虎“ハリマオ”と神本利男
- 200頁 蘭印作戦で活躍した パレンパン 落下傘部隊
- 205頁 サイゴン放送局からの ラヂオ謀略放送
- 209頁 ビルマ獨立への道をつくつた南機關
- 218頁 インド獨立における中野卒業生の功績
- 224頁 國內防諜を擔つたヤマ機關
- 231頁 遊撃戦（ゲリラ戦）能力の強化
- 234頁 假令國が降伏しても、ゲリラ部隊が残つてゐれば、占領國は延々と手を焼くことになる  
義烈空挺隊による「義號作戦」1945年5月24日
- 241頁 少年まで捲き込んだ沖縄の護郷隊
- 244頁 終戦時における工作活動  
●玉音放送用の録音盤奪取・破壊工作  
●皇統護持工作（護持できぬ時はGHQを攻撃する予定だった……）
- 251頁 GHQのキャノン機關への協力：中野卒業生達の戦後の身の振り方の一例
- 258頁 GHQの參謀第二部（G2）傘下の情報機關：河辺機關／有末機關／辰巳機關／服部機關／山崎機關
- 277頁 敗戦國ドイツの情報將校が仕掛けた壯大な對米謀略工作：ゲーレン機關
- 280頁 陸上自衛隊に陸軍中野學校の遺産を傳へた藤原岩市
- 284頁 三島由紀夫のクーデターに加擔した山本舜勝
- 287頁 終戦から29年後に歸國した小野田少尉
- 291頁 台灣軍の強化に寄與した中野卒業生：白團物語  
cf. 中村祐悅『白團：台灣をつつた日本軍將校たち』（芙蓉書房出版、1995. 6. 5） 2136圓+税  
野嶋 剛『ラスト・バトル：蔣介石と日本軍人たち』（講談社、2014. 4. 21） 2500圓+税
- 金門島 古寧頭に侵攻した中共軍 2萬人を殲滅した根本博中將の偉業
- 295頁 むすびに代へて：我國の情報體制強化のための諸方策  
陸軍中野學校の「道標」としての物足りなさ
- 296頁 中央情報機關 JCIA の創設について
- 299頁 情報についての國民的教育
- 301頁 防衛駐在官制度の改善策
- 307頁 「クラウド・インテリジェンス局」の創設
- 308頁 日本の眞の獨立 Independence は情報 Intelligence の獨立から
- 312頁 【陸軍中野學校の思ひ出と日本の今後取るべき秘密戦體制】 陸軍中野學校第三期乙種學生 牟田照雄
- 317頁 （中野學校の學生は）任務遂行上守るべき信條として、又同志的團結強化のため「誠」の心を鍛練。「條理極まる所これ誠なり」と言ひ、軍人勅諭五箇條の精神は誠で締めくくられてゐた。  
秋草俊少將の墓の墓碑銘は「誠」……

- 「満洲のロレンス」と言われた土肥原賢二大將は「謀略は誠なり」と喝破した。
- 318頁 陸士時代、既に私は個人的に皇國史觀を學び、誠を任務遂行上の信條としてゐた。濱松の現地戦術の時に攻撃重點を教官に質問された時に、「誠の心で考慮した上で岩屋觀音に指向する」と回答したことが、同期生の間で傳説となつてゐた。偶然に中野學校教育と合致してゐたから、中野は我家に歸つたやうに居心地が良かった。
- 320頁 中野學校は組織活動を重視し、「中野出身者は團結が固い」といふのが定評であつた。……將校と下士官と二名の兵士の計四名一組で組織活動を重視。
- 322頁 中野は「スパイ學校」ではなく、「秘密戦士養成所」である  
中野の歴史に「諜報」といふ言葉に最も相應しい KGB用語の「イリカ (非合法工作員)」は一人もいない。
- 326頁 現在、日中兩國は秘密戦＝超限戦を常時戦つてゐる……
- 329頁 私は「生涯情報」の方針だから、九十二歳以降も間接的には政府に寄與してゐるつもり……。これが「中野學校精神」と信じてゐる。……「生涯情報・生涯現役」を旨に、今後も中野學校精神を傳へてゆきたい……
- 331頁 日本國防體制強化のため、先づ憲法を改正して國防軍を創設することが基本……兵役制度を確立して、隊員の高齡化を防ぐことがこれに伴つて必要……
- 【諜報・宣傳・防諜・サイバー戦の機能強化策】
- ① 中央情報機關機能：内閣情報室と外務省國際統括官中心
  - ② 中央防諜機關機能：公安調査廳中心
  - ③ 中央宣傳局機能：内閣廣報室中心
  - ④ 中央國際テロ對策局機能：警察廳警備局國際テロリズム對策課中心
  - ⑤ 中央IT戦力局機能：サイバー部門、電子兵器部門、AI兵器部門 (防衛省情報本部電波部中心)
- の確立・強化が喫緊の課題……

### III. 原田統吉『風と雲と 最後の情報將校：陸軍中野學校第二期生の手記』

(自由國民社、昭和48.5.1 1刷/9.15 2刷) 800圓

今回三讀して感銘を新たにした。皆さんに一讀をお薦めします。

- 226頁 私の理解する中野學校の精神の理念は、「徹底的に強靱な戦ひの思想」と「曇りなき眼を持つた自由な精神」とのバランスであり、それは無私と價值觀の轉換によつて支へられてゐた、といふことができよう。そして小野田少尉はその一方の柱「強靱な戦ひの思想」に殉じて今も戦ひ續けてゐるやうに私には思へるのである。

### IV. 日本の“誠”の典型：軍神廣瀨少佐 (戦死後、中佐に昇進)：“斷乎たる闘志”を秘めた「和の精神」 戦後の我國 (特にレーガン政権以降) は、闘志を缺如した和の追求……

一旦緩急ある時に戦ふ意志のある若者は僅か18%あるのみ…… (かくも低い數字は我國のみ)

cf. 島田謹二『ロシアにおける廣瀨武夫』 (朝日新聞社、1970. 4. 30) 1400圓

先に「老若男女、自國民他國民を問はず人を魅了した廣瀨武夫」と書いたが、特に三人の若き女性を深く心から愛させた部分は、深刻に心に残る。三人の女性とは——

マリヤ・オスカロヴナ 21~22歳 穏かで温和な女性  
アリアドナ・ウラヂーミロヴナ・コヴァレフスカヤ 18歳 気の強い独立獨歩の女性  
友人川上俊彦 46歳 の新婚の妻、常磐 26歳 會津出身、ミッションスクールで英語と信仰を鍛へられた  
三人中、アリアドナが一番深く全身全霊を舉げて廣瀬を愛した。その純愛は、どんな戀物語も及ばぬ體 でのもの。廣瀬の早過ぎた死がつくづく惜しまれる。  
読んでゐて深く深く、しみりと心の底から感動する。ぜひ圖書館で御一讀の程を……！

#### V. 日本精神の根源：十七條の憲法の第一章

cf. 原典 日本佛教の思想——1 『聖徳太子』（岩波書店、1991.3.8） 4660圓+税 12頁

夏四月丙寅朔戊辰・皇太子親肇作憲法十七條「一曰 以和爲貴……」

夏四月の丙寅の朔戊辰、皇太子親ミから肇はじめて憲いつくき法十七條トヲアマリナリテ作ル。

一に曰く、和やうぐを以て貴しと爲す。（伊原註：貴しとなす、ではなく「貴しとす」と讀む）

#### VII. 謀略活動と誠の心：

- 1) 情報關係者は「愛國心」と「超一流の知性」を要する
- 2) ヒューミット の 根本：信頼
- 3) 「和を貴ぶ」日本人は、自分の任務達成が世界の和の達成に役立つとの信念で行動すべし

日本人と對照的なのがシナ人：cf. 『韓非子』／李宗吾『厚黒學』（清末民初 1910年頃、四川省に出現し、一世を風靡）。21世紀 の 今なほ讀まれてゐる。李宗吾の説＝「厚黒」なら成功し、「不厚不黒」なら失敗する、と。厚＝厚顔無恥／黒＝腹黒い心

シナの歴史：第一期 孔孟の徳の時代 → 第二期 鐵面皮の輩の活躍期 → 第三期 孔孟の心を以て鐵面皮の術を行はねばならぬ時期。『厚黒學』は 第二期の學説、騙しと裏切りによる金儲け……